

鹿燃新  
霧島・新燃岳

# 噴火警戒レベル3

周辺2<sup>キロ</sup>入山規制 JR、航空など乱れ

気象庁は26日、宮崎、鹿兒島県境の霧島山・新燃岳(1421<sup>メートル</sup>)で19、22日に続いて小規模な噴火があったと発表。「活動が活発になり、噴石が

勢よく噴煙を上げる  
霧島山・新燃岳 26日  
午後5時半ごろ  
(鹿兒島県霧島市提供)

飛散する恐れがある」として、噴火警戒レベルを3に引き上げ、火口周辺約2<sup>キロ</sup>の入山を規制した。新燃岳がレベル3になるのは噴火警戒レベルが導入された2007年12月以降初めて。

## 【33面に関連記事】

広範囲な降灰の影響でJR線の一部が連休、宮崎自動車道も一部区間が通行止めとなり、航空便にも欠航が出た。また、今後火口からおおむね2<sup>キロ</sup>の範囲で噴石などに警戒が必要という。

宮崎地方気象台などによると、同日午前7時31分にごく小規模な噴火を観測。噴煙は午前中には高さ約200<sup>メートル</sup>だったのが、午後3時半にも小規模な噴火があり、規模が拡大。噴煙は高さ約1500<sup>メートル</sup>まで上がった。地下のマグマ活動などを示すとされる火山性微動も観測され、午後9時現在、

噴火は継続している。鹿兒島地方気象台は27日に二酸化硫黄など火山ガスの観測や降灰調査を実施する予定。「大量のマグマ上昇の兆候はないが、マグマの動きによっては大きな噴火となる可能性がある」としている。

